

榎原茂樹博士記念号の発行に際して

榎原茂樹教授は、神戸大学大学院経営学研究科において長年にわたりて研究・教育ならびに大学での行政に携わってこられ、2006年4月に関西学院大学商学部の教授として迎えられました。これは、商学部の専任教員組織のさらなる充実、発展を期待されてのご就任でした。爾来8年の間、商学部および商学研究科の研究、教育、後進の育成に多大な貢献をされてこられました。

榎原教授は、1968年に神戸大学経営学部をご卒業になり、住友化学工業にご勤務の後、神戸大学大学院経営学研究科修士課程へと進学されました。1972年4月に神戸大学経営学部助手に就任され、1975年4月に同講師、1979年4月には助教授、そして1988年4月に教授に就任され、1999年4月には神戸大学大学院経営学研究科教授となられました。その間、大学評議員、経営学部長、経営学研究科研究科長等、神戸大学の行政において数々の重責を果たしてこられました。

榎原教授のご専門は経営財務論であり、丹波康太郎先生、森昭夫先生の元で研鑽を積まれ、博士学位論文『現代財務理論』により神戸大学から経営学博士の学位を授与されておられます。最近では、株式などに代表されるリスク資産の価格が、リスクとの関係でどのように形成されるかを、理論的・実証的に研究されておられます。著作目録に示されている数多くのご研究に対する高い評価とともに、

先生の温厚なお人柄は学界における幅広いご人脉にもあらわれております。多数にのぼる共著や共編著にその一端が示されています。

また榎原教授は、日本経営財務研究学会会長、証券経済学会常任理事等々の学会役員を歴任され、学界の発展に貢献されますとともに、日本証券アナリスト協会試験委員会委員長、厚生年金基金連合会資産運用委員会委員長、教職員共済生活協同組合資産運用委員会委員長、一般財団法人中西奨学会評議員等、社会活動の要職につかれ、積極的に社会への貢献活動にも関わってこられました。

榎原教授のご退職にあたり、商学部ならびに商学研究科の教育、研究、行政に対する多大のご貢献に衷心より感謝の意を表し、ここに『商学論究』の記念号を刊行できることは大きな喜びであります。先生の今後のますますのご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げます。

なお、この記念号の刊行に際してご執筆いただいた先生方、また編集に携わっていただいた商学論究編集委員会の先生方に厚く御礼を申し上げる次第です。

2014年3月

商学部長 海道ノブチカ